

JFA 第 49 回全日本 U-12 選手権大会

鳥取県サッカー協会ユース審判員 内田恭平

【日程】大会:2025 年 12 月 25 日(木)～12 月 28 日(日) (3 泊 4 日)

【場所】鹿児島ふれあいスポーツランド/鹿児島県立サッカー・ラグビー場

【活動・研修内容】
・研修会前 2 度の Zoom での事前研修会(11/12・12/10)
・JFA 第 49 回全日本 U-12 選手権大会での活動

1. 11 月 12 日(水) 事前研修

大会概要について(名木さん)とテクニカルのお話(古畠部さん)をいただきました。

テクニカルのお話では「どのような時にグリーンカードを提示するのか」や、大会テーマなどを話し合いや確認しました。次回までの課題「4 局面について理解する」も出ました。事務的なことを確認しました。

2. 12 月 26 日(金)： ジョガボーラ柏崎 FC(新潟)1-0 アップル(滋賀) ふれあいスポーツランド P2 9:30Kick Off MN2

主審: 豊川 快斗氏 補助審: 内田 恭平 INS 岸本 拓洋氏

初戦で緊張もありましたが、しっかり補助の役割をできてよかったです。

前半 4 分に補助の役割を超えるような行動をしてしまったので、補助の役割を確認・理解して臨むことが必要でした。

3. 12 月 26 日(金)： アルティスタ浅間 U-12(長野)0-2 北海道コンサドーレ札幌 U-12(北海道) ふれあいスポーツランド P2 11:30Kick Off

主審: 内田 恭平 補助審: 豊川 快斗氏 INS 岸本 拓洋氏 MN18

普段あまり担当しない 8 人制 1 人制審判をやって、11 人制の対角線式審判法が残って右サイドにあまりポジションをとれないなど苦戦することもありましたが、チャレンジすることを忘れずに思い切って競技のフィールドの外まで出てみる事が出来たので良かったです。課題としては、左右のサイドにポジションを移動したときに体の向きや目線が外を見てしまっているので目線だけでもゴール前に残すようにしたいです。

4. 12 月 26 日(金)： 長崎ドリーム FC ジュニア(長崎)5-0 武生 FC・ブルーキッズ(福井) ふれあいスポーツランド P2 14:15Kick Off

主審: 内田 恭平 補助審: 豊川 快斗氏 INS 津田 人志氏 MN34

この試合では、先程の試合よりもっと幅をとる動きを意識しました。その中で 1 試合の課題でもあった、左右に出る動きの中で体の向きや目線をゴール前に残す事にチャレンジしました。この試合を通して自分のやりたかったことがうまくいってよかったです。課題としては、どんな時でも幅をとる動きをするのではなくその場面に応じて PA の幅で止まることも必要だということです。何でもかんでも幅をとることが大事ではなく、自分は何を見極めたいのかを考えながらポジションをとる必要があると思いました。

5. 12月26日(木) 夜の研修

WS(国際主審の福島孝一朗氏によるお話)

「存在感」を出して、「自分を知ってもらう」ことや真摯に、誠実に、真剣に目の前の試合・選手に向き合う事、感謝・初心・謙虚な気持ちを持つことが大切などをお話しさせていただきました。

試合を円滑に進めるためには(古曾部 統太郎氏)

HTに前半の公式記録を確認する・選手が負傷した時の対応などをお話ししていただきグループディスカッションを行いました。審判員としてメンバー表を見て気づくことや試合前にできることは何かなどを考えできるだけ試合を円滑に進め、選手等が試合に全力で臨めるようにしたいです。

6. 12月27日(金): FC琉球 U-12(沖縄)2-0 モンテディオ山形ジュニア庄内(山形) 鹿児島ふれあいスポーツランド P7

主審:内田 恭平 補助審:豊川 快斗氏 INS 津田 人志氏 MN55

中盤でコンマ何秒か足が止まってしまったり、サイドに出てクロスが上がるときにコンマ何秒か遅れたりすることがありました。中盤で足が止まったことに関しては距離を意識しすぎて、近づきすぎたりしてしまったのでいい位置で見る=近くで見るではなく少し遠くてもいいのでいい角度で見ることもいい位置で見ることにつながってくるので、しっかり予測して自分は何を見極めたいかを考えてポジションを取りたいです。

7. 12月27日(金): ニカホウインズ FC(秋田)0-3 FCトリアネーロ町田(東京2) 鹿児島ふれあいスポーツランド P7

主審:豊川 快斗氏 補助審:内田 恭平 INS 津田 人志氏 MN71

今大会2回目の補助審をしました。初めての補助審の時の反省を生かし、しっかり補助審の役割を理解し臨むことができました。また主審と記録員をつなぐ役割として、主審ができるだけ円滑に試合を進めれるようにできたと思います。

8. 12月27日(金): ニカホウインズ FC(秋田)0-3 FCトリアネーロ町田(東京2) 鹿児島ふれあいスポーツランド P7

主審:赤田 健生氏 補助審:内田 恭平 INS 岸本 拓洋氏 MN79

まず、ラウンド16の試合に関わったことは良かったです。補助審として何ができるのかを常に考え選手はもちろん主審にもストレスがかからないようにできました。

試合後39°Cの熱が出てしました。たくさんの方に迷惑をかけてしまったので日頃から体調管理を徹底し大会を支える側ということをしっかり理解して生活していきたいです。

9. まとめ

この度はJFA第49回全日本U-12選手権大会に参加させていただきありがとうございました。

この大会を通して8人制1人審判ならではの動きやポジショニング・マネジメントのや

り方など普段の11人制では感じることができないことがたくさんありました。しかし、8人制が11人制と全く違うかというとそうではなくて中盤でのポジショニングや試合全体を通したマネジメントなど11人制に通ずることもありました。今後の審判人生で1人審判をすることはあまりないかもしれませんけれど、今回この大会に参加して得た11人制通ずることを生かしながら選手がストレスなく全力でプレーできるレフェリングを目指して努力していきたいです。

最後に、今回参加するにあたり携わっていただいた大会関係者、指導スタッフ、インストラクター、ユース審判員、中国FA、鳥取FAの皆様に感謝致します。本当に貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

